

単元名 **にっぽんのうた みんなのうた(3)**

配当時間 **1時間**

単元の目標 (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けることができる。
(2) 旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関りについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。
(3) 季節との関わりや曲想に合った表現に関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

03070201_001

【教材名】うさぎ（歌唱 共通教材）

(P. 28～P. 29)

【準備等】範唱CD

| 学 習 活 動 | 留 意 事 項 など |
|--|--|
| <p>1 曲の気分を感じ取り、歌詞の内容を理解して歌詞唱する</p> <p>○範唱を聴き、曲の感じをつかむ。 ★秋を感じ、様子をそうぞうしながら歌おう</p> <p>○挿画を見て、歌詞を音読する。</p> <p>○「お月見の話」を読み、十五夜やお月見の行事について知っていることを交流する。</p> <p>○呼びかけ合いに気付き、前半と後半を交互に歌う。</p> <p>○やさしく話しかけるような歌い方で歌う。</p> <p>○情景を想像しながら歌い、単元のまとめをする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統的な曲の感じを、体感させる。「かごめ かごめ」や「花いちもんめ」「おちやらか」など、よく知られているわらべ歌を聴かせたり歌わせたりすると、感じをつかみやすい。 【評】曲想と旋律など音楽の構造や曲想と歌詞の内容とを関わらせながら聴く活動を通して「知識」を評価する。 ・教科書の絵を見て、想像させながら紹介するとよい。 ・日本の秋の様子を思い浮かべさせる。 【評】季節との関わりや曲想に合った表現について話し合う活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・うさぎの気持ちになって人間に答えるような歌い方をさせる。 ・ペアで歌わせるのもよい。 【共通事項】呼びかけとこたえ 【評】旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら曲想にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。 ・情景を思い浮かべ、話し掛けるような歌い方で歌う。 ・自然で無理のない発声を意識させる。 ・フレーズを意識して歌わせる。 ・旋法の違う旋律でも歌ってみて、気付いたことを話し合う活動も取り入れるとよい。（指導書伴奏編参照） 【共通事項】フレーズ 旋律 【評】呼吸や発音の仕方に気を付けて歌う活動を通して「技能」を評価する。 |

【 備 考 】